



# 能登半島地震復興支援活動【2025年1月版】 ～地震発生から1年間の活動報告～

2025/1/23

Japan Football Association

能登半島地震復興支援プロジェクト

# JFA



# 能登半島地震復興支援プロジェクト

#被災地に力を 被災地のニーズに沿ったサッカーによる支援

2025年  
1月版

がんばろう  能登!  
サッカーファミリーのチカラをひとつに!

## JFAの理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、  
人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

サッカーの  
普及

サッカーの普及に努め、  
スポーツをより身近にすることで、  
人々が幸せになれる環境を作り上げる。

サッカーの  
強化

サッカーの強化に努め、  
日本代表が世界で活躍することで、  
人々に勇気と希望と感動を与える。

社会の  
発展への  
貢献

常にフェアプレーの精神を持ち、  
国内の、さらには世界の人々との  
友好を深め、国際社会に貢献する。

## JFAのビジョン

2024年1月1日  
能登半島地震による被害

### 人的被害

死者489人 行方不明2人（12月24日時点）  
※災害関連死含む

### 建物損壊

住家被害149,724棟（12月24日時点）

### 公費解体（災害廃棄物）

解体予定32,410棟 完了件数14,152棟  
解体率43.7%（12月末時点 石川県のみ）

### 避難生活・応急仮設住宅

応急仮設住宅159か所6,882戸  
（12月24日時点 石川県のみ）

### 学校、保育所等の被害

小学校487校、中学校222校、高校128校、  
219施設ほか（12月24日時点）

2024年9月21日～23日  
能登半島豪雨による被害

死者 16人 住家被害1,628棟  
（12月24日時点）



アスパス!



地域

JFAサッカーファミリー  
復興支援金

がんばろう  能登!  
サッカーファミリーのチカラをひとつに!

現在までにお預かりした支援金

85,791,225円

2024年12月末時点



PARTNERSHIP  
PROJECT  
for NOTO

JFAパートナーとの活動

日本赤十字社への義援金拠出

5,000,000円

2024年1月理事会決議

## 活動

JFAが被災者に対して直接実施

2024年度～26年度の計画

約7,000万円

- ・子どもたちのこころのケア（アスリート訪問）
- ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」の実施
- ・学校体育サポート
- ・その他、被災地における復興支援イベント開催や被災者の各種イベントへの招待
- ・豪雨後の災害ボランティア活動への参加

## 支援

コミュニケーション

2024年度～26年度の計画

約1,300万円

被災地域の  
復興を応援

支援の輪を  
広げる

- ・石川県協会の活動の支援（登録料・交通費等）
- ・防災の日イベント開催（パートナーとの連携）
- ・地域産業の支援（ふるさと納税返礼品サポート）
- ・クラウドファンディングの実施
- ・チャリティオークションの実施
- ・被災地の現状を知ってもらう情報発信
- ・支援いただいている方々への情報発信
- ・豪雨後の情報発信、支援呼びかけ

## 施設整備・用具提供

2024年度～26年度の計画

約1,500万円

- ・サッカー施設復旧支援
- ・ミニゴール、用具等の配布
- ・豪雨災害後の生活物資等の提供

JFA

がんばろう  能登!  
サッカーファミリーのチカラをひとつに!

2025/1/23



# 能登半島地震復興支援プロジェクト

#被災地に力を 被災地のニーズに沿ったサッカーによる支援

2025年  
1月版

がんばろう能登!  
サッカーファミリーのチカラをひとつに!

JFAでは、防災・復興支援委員会（当時）において、災害後の「復興」がよりよいものにしていくために、発生前からの備えと発生直後の行動の重要性について考えてきました。

能登半島地震においては、発生直後から被災地の自治体やサッカー協会からの情報を得ながら、被災地へのメッセージ発信や登録料免除・特別対応とあわせて、「能登半島地震復興支援プロジェクト」を立ち上げ、まずは学校再開のタイミングに合わせて必要となった「子どもたちのこころのケア」を多くの皆様のご協力をいただきながら開始。

トップアスリートが被災地の小中高校や園をくまなく訪問し、すべての子どもたちにスポーツを通じて災害時のストレスを緩和したり、将来への希望を持てる機会を設けました。

また、訪問先の学校の地域コミュニティが、避難所から仮設住宅へ移るときに途絶えてしまう課題に対して、だれでも一緒に楽しむことができるウォーキングフットボールのイベントを開催しました。

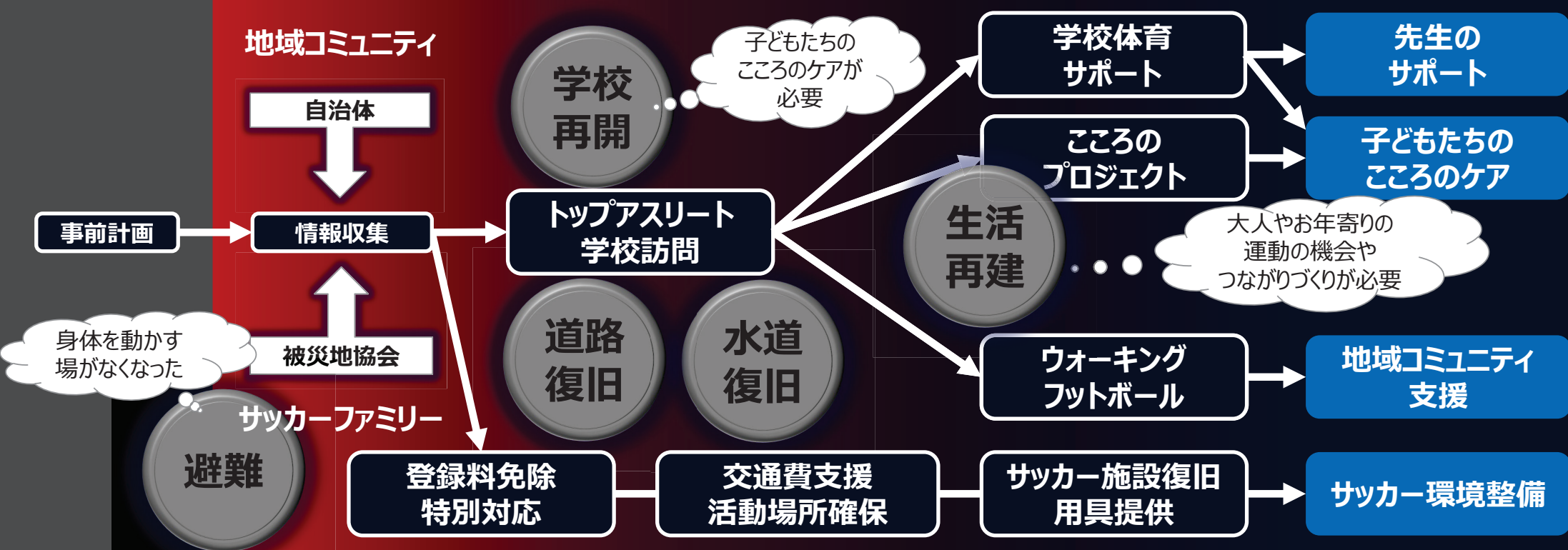
このように、子どもからお年寄りまでサッカーやスポーツを通じた被災地の支援は、これからも長期にわたって必要となっています。引き続き、被災地へのあたたかい応援をよろしくお願いいたします。

発生前

発生直後

情報発信・復興支援マッチ・募金活動

復興支援



## 数字で見るJFAの復興支援活動

2024年1月～12月の実績

## 子どもたちのこころのケア

アスリートによる学校・園への訪問

125回 11,600人

訪問したアスリート のべ512人

エースバーンの参加 15回

学校・園への訪問に関連して...

近隣の高齢者福祉施設等への訪問 10回

訪問後の災害ボランティア活動 6回  
(2024年9月豪雨災害後)

現地での移動距離 (主に金沢～能登半島各地)

約 16,000km

青森～鹿児島 (約1,900km) の4往復以上

## コミュニティ支援

JFA・キリン ビッグスマイルフィールド

ウォーキングフットボールイベント 4回 292人

## 夢キャンプ

JFA Partnership Project for NOTO  
JFA夢フィールドでのSAMURAI BLUEとの交流

参加者数 120人

## 復興支援マッチ

MS&amp;ADカップ2024 なでしこジャパン vs ガーナ女子代表

観客数 9,648人

## 支援物資の提供

飲料の提供 約600人分  
(豪雨災害後の緊急支援)

被災者へのウェアの提供 約3,000着

訪問園へのミニゴールの提供 約100セット

訪問園でのスターターキットの提供 約2,000セット

避難所等への缶詰の提供 約2,000セット

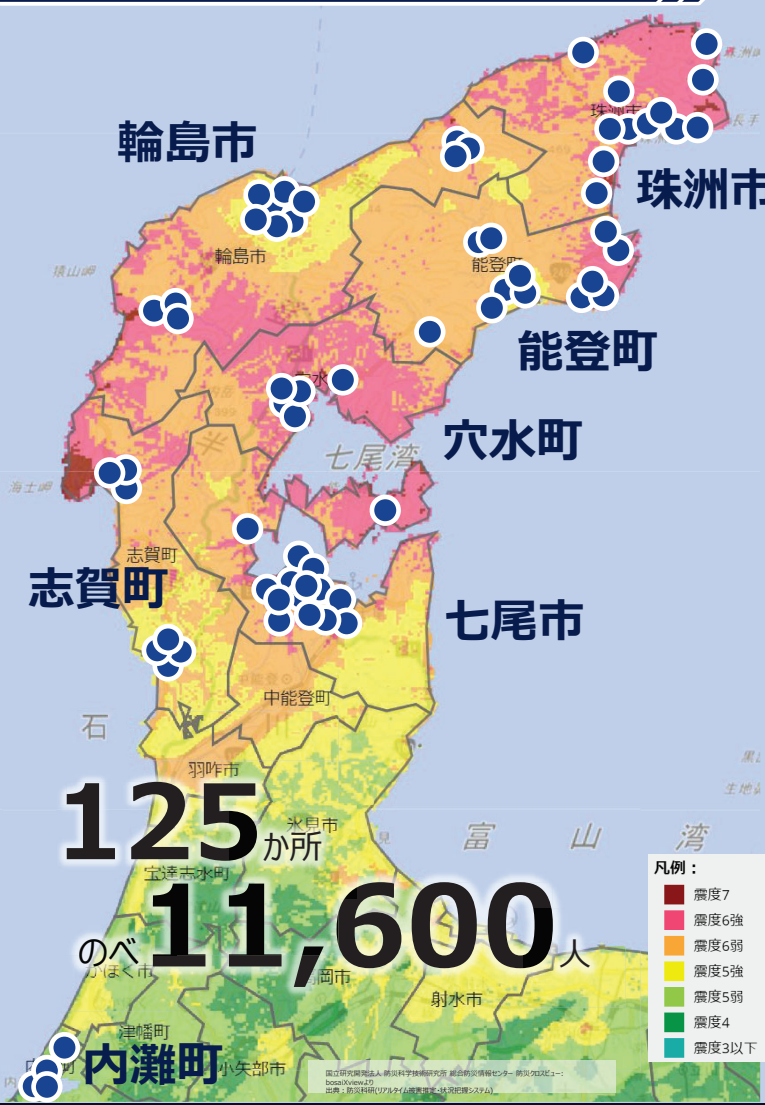
## 文京区への招待

輪島市中学校のスポーツ交流・職場体験学習・夢の教室

参加した中学2年生 80人

多くのご支援により、様々な支援活動を実施することができました。  
ご協力ありがとうございました。引き続き、被災地へのあたたかい  
応援をよろしくお願いいたします。

子どもたちのこころのケア訪問先



珠洲市

訪問先	訪問日	合計	日本代表OBOG	日本財団HEROs/ツエーゲン金沢/トップリーグ機構等
つばき保育園	4/5	130	永島昭浩・都築龍太・橋本英郎・石川直宏・武田修宏	
飯田小学校	2/19	51		菅原隆・堀田美恵・松坂拓紀
正成小学校	2/20	12		菅原隆・堀田美恵・生山裕人・松坂拓紀
上野小学校	2/21	5		菅原隆・森生真穂
鎌倉小学校	2/27	20		菅原隆・小西美加・土居美咲・松坂拓紀
あきき小学校	6/14	32	永島昭浩・武田修宏	
若山小学校	2/20	17		菅原隆・堀田美恵・生山裕人・松坂拓紀・廣井友信
若山小学校	12/3	22	金田喜稔・中西永輔	
宝立小中学校	2/21	40	播戸竜二	菅原隆・森生真穂
宝立小中学校	4/5	28	永島昭浩・都築龍太・橋本英郎・石川直宏・武田修宏	
南小学校	2/26	33		菅原隆・小西美加・菊池康平・浦田隼子
南小学校	12/6	68	安田理大・山田卓也	多田野彩香・中野崇一
大谷小中学校	2/27	22		菅原隆・小西美加・土居美咲・松坂拓紀・廣井友信
大谷小中学校	11/14	6	久保竜彦・ハーファナー・マイク	小西美加
三崎中学校	2/23	18	永島昭浩	菅原隆・若下達郎・杉山美紗
緑丘中学校	6/7	114		菅原隆・杉山美紗・井上麗・多田野彩香
飯田高校	2/28	38	巻誠一郎	菅原隆・土居美咲・畠山健介・松坂拓紀・杉本一樹・瀬川真帆・根木慎志

輪島市

訪問先	訪問日	合計	日本代表OBOG	日本財団HEROs/ツエーゲン金沢/トップリーグ機構等
まほの保育園	4/2	3	小村徳男	坂井寛子
まほの保育園	11/9	35	山根恵里奈	杉山美紗
海の星幼稚園	4/2	45	小村徳男	坂井寛子
海の星幼稚園	12/20	75	山根恵里奈	坂井寛子・井上麗・吉田冬優
わしまどり保育園	4/24	98	田中卓磨	菅原隆・杉山美紗・杉本一樹・畠山健介
松風台保育園	11/12	160	安田理大・中西永輔	菅原隆
和光幼稚園	4/25	40	田中卓磨	菅原隆・畠山健介・小西美加・山口佳南
和光幼稚園	4/26	65	田中卓磨	菅原隆・山口佳南・松坂拓紀・廣井友信
和光幼稚園	12/12	100	前田治・武田修宏・中西永輔・安田理大	
妙心幼稚園	12/13	100	前田治・武田修宏・中西永輔	
門前小学校・東小学校	5/10	52		廣澤沙綾・根木慎志・土居美咲・井上麗
門前小学校	5/15	18	武田修宏・久保竜彦・前田治	
門前中学校	2/21	40	巻誠一郎	生山裕人
門前中学校	11/20	54	久保竜彦・酒井友之	土井レイ香利・大西 将太郎
輪島中学校	3/14	30		若下達郎・畠山廣大・赤堀文也
輪島中学校	12/19-23	329	金田喜稔・山根恵里奈・永島昭浩・久保竜彦・安田理大・ハーファナー・マイク	坂井寛子・井上麗・吉田冬優
東郷中学校	5/15	10	武田修宏・久保竜彦・前田治	畠山健介
輪島高校	2/27	40		
門前高校	6/13	101	武田修宏・安田理大	

志賀町

訪問先	訪問日	合計	日本代表OBOG	日本財団HEROs/ツエーゲン金沢/トップリーグ機構等
とき保育園	2/22	44	金田喜稔	杉山美紗・藤巻立樹
高浜保育園	2/22	100	金田喜稔	菅原隆・杉山美紗・藤巻立樹
すばる幼稚園	3/5	180		菅原隆・細川泰輝
富来小学校	2/22	186	金田喜稔・巻誠一郎	菅原隆・若下達郎・杉山美紗・藤巻立樹
志賀小学校	2/29	387	巻誠一郎	菅原隆・松坂拓紀・杉本一樹・瀬川真帆・根木慎志・荒井daze廣正・廣井友信
志賀小学校	3/5	70		菅原隆・細川泰輝
志賀中学校	2/14	207		廣井友信
富来中学校	2/22	108	金田喜稔・巻誠一郎	菅原隆・若下達郎・杉山美紗・藤巻立樹
志賀高校	5/24	108		菅原隆・廣澤沙綾・久保大樹・吉田冬優

内灘町

訪問先	訪問日	合計	日本代表OBOG	日本財団HEROs/ツエーゲン金沢/トップリーグ機構等
誠美幼稚園	5/16	58	久保竜彦・海堀あゆみ	
内灘はまなすこども園	5/17	151	都築龍太・加地亮・田中卓磨	
鶴子こども園	5/30	114	武田修宏・田中卓磨・橋本英郎	
向東崎保育園・北部保育園	5/31	131	都築龍太	
千鳥白幼稚園	6/28	104	ハーファナー・マイク	杉山美紗・井上麗・多田野彩香
白鳥白幼稚園	6/28	164	ハーファナー・マイク	杉山美紗・井上麗・多田野彩香
白鳥小学校	6/12	117	酒井友之・田中卓磨・渡戸康広	
鶴子小学校	6/18	31	山田卓也・小村徳男	
西荒屋小学校	6/18	43	山田卓也・小村徳男	
大根布小学校	6/19	259	山田卓也・井坂美都・中川典子・山岸晴代	
清瀬小学校	6/21	135	安田理大・久保竜彦	
内灘中学校	6/25~27	643	安田理大・中西永輔・ハーファナー・マイク	小西美加・杉本一樹・荒井daze廣正・竹村幸・土居美咲・小林真由美・杉山美紗・諸江健太・菅原 龍・林 泰昌・廣澤沙綾・大西将太郎・岡田麻央・久保大樹・小口貴子・廣井友信

能登町

訪問先	訪問日	合計	日本代表OBOG	日本財団HEROs/ツエーゲン金沢/トップリーグ機構等
小水こども園	4/17	32	巻誠一郎	坂井寛子
うしつ保育所	4/18	118	海堀あゆみ	
柳田保育園	5/1	44	久保竜彦・山根恵里奈	
こすも保育園	5/9	112	田中卓磨	
松波こども園	5/15	33	武田修宏・久保竜彦・前田治	岡田麻央・土居美咲・廣澤沙綾・根木慎志
鶴川保育園	5/21	29	渡戸康広・小林弥生	
小水こども園	11/22	39	酒井友之	菅原隆・徳南賢太
宇出津小学校	2/6	110	巻誠一郎	畠山健介・菅原隆・松坂拓紀
宇出津小学校	6/24	140	金田喜稔・安田理大	小林真由美・土居美咲・竹村幸・吉田冬優・中嶋明子
柳田小学校	2/6	35	巻誠一郎	畠山健介・菅原隆・松坂拓紀
柳田小学校	5/1	81	久保竜彦・山根恵里奈	
松波小学校	4/26	69	田中卓磨	菅原隆・山口佳南・松坂拓紀・廣井友信
松波小学校	12/5	84	安田理大・山田卓也	多田野彩香・中野崇一
小水小学校	5/2	42		坂井寛子
小水小学校	11/11	51	安田理大・中西永輔	菅原隆
鶴川小学校	5/2	43		坂井寛子
柳田中学校	2/6	40		畠山健介・菅原隆・松坂拓紀
小水中学校	3/18	20	渡戸康広	菅原隆・杉山美紗・杉本一樹・井上麗・榎本紀康・廣井友信
能部中学校	4/30	100	田中卓磨	廣井友信
松波中学校	4/30	36	田中卓磨	廣井友信
松波中学校	11/22	41	酒井友之	菅原隆・徳南賢太
能登高校	2/28	188		菅原隆・杉山健介・松坂拓紀・杉本一樹・瀬川真帆・根木慎志
能登高校	5/14	189	永島昭浩・武田修宏	菅原隆・坂井寛子
能登高校	7/18	171	巻誠一郎・安田理大	藤井美弥・浦田隼子・本村嘉菜・本村 成俊

穴水町

訪問先	訪問日	合計	日本代表OBOG	日本財団HEROs/ツエーゲン金沢/トップリーグ機構等
神杉保育園	4/23	24	小村徳男	菅原隆・杉山美紗・鈴木大輔・杉本一樹・廣井友信
早和こども園	5/9	63	坪井慶介・田中卓磨	岡田麻央・土居美咲・廣澤沙綾・根木慎志
穴水こども園	5/21-30	74	武田修宏・田中卓磨・橋本英郎	畠山健介・杉本一樹・小西美加・井上麗
穴水中学校	3/18	27	渡戸康広	菅原隆・杉山美紗・杉本一樹・井上麗・榎本紀康
穴水中学校	5/21	107		畠山健介・杉本一樹・小西美加・井上麗
穴水高校	6/11	90	酒井友之・田中卓磨・小村徳男	

七尾市

訪問先	訪問日	合計	日本代表OBOG	日本財団HEROs/ツエーゲン金沢/トップリーグ機構等
のとしま幼稚園	3/5	42		杉山美紗・赤堀文也
あさひ保育園	3/6	45	海堀あゆみ	菅原隆・杉山美紗・細川泰輝・赤堀文也・小原翼
鶴ヶ江みどりこども園	3/6	70	海堀あゆみ	菅原隆・杉山美紗・細川泰輝・赤堀文也・小原翼
ななみどりこども園	3/14	170		菅原隆・藤巻立樹
ななみどりこども園	3/14	120		菅原隆・藤巻立樹・廣井友信
光の子保育園	3/14	14		菅原隆・藤巻立樹・廣井友信
やまこども園	3/15	81		菅原隆・藤巻立樹・小原翼・井上麗・石田太志
七尾幼稚園	3/15	44		菅原隆・藤巻立樹・小原翼・井上麗・石田太志
聖母幼稚園	3/15	32		菅原隆・藤巻立樹・小原翼・井上麗・石田太志
東みどりこども園	3/21	50	巻誠一郎	
田鶴浜こども園	3/27	83		市瀬菜々・小村徳男・若原睦子・坂井寛子
和倉こども園	3/27	57		市瀬菜々・小村徳男・若原睦子・坂井寛子
本宮のもり幼稚園	3/27	60		久保竜彦・堀内亮輔・坂井寛子
小丸山認定こども園	3/28	60		久保竜彦・堀内亮輔・坂井寛子
西渡こども園	3/28	130		久保竜彦・堀内亮輔・坂井寛子
浜岡幼稚園	3/28	142	永島昭浩	久保竜彦・堀内亮輔・坂井寛子
認定こども園ひまわり	4/11	63	佐藤寿人	坂井寛子
能登島小学校	3/5	35		杉山美紗・赤堀文也
能登島小学校	7/5-6	91		奥野史子・杉山美紗・諸江健太・小口貴子・岸彩乃・榎本紀康・小立野ASチーム
和倉小学校	4/25	116	田中卓磨	菅原隆・畠山健介・小西美加・山口佳南
小丸山小学校	5/7・8・10	307		杉山美紗・菊池康平・小西美加・久保大樹・岡田麻央・土居美咲・廣澤沙綾・根木慎志・土居美咲・井上麗
天神山小学校	5/17	74	都築龍太・加地亮・田中卓磨	
田鶴浜小学校	5/23	135		杉山美紗・畠山健介・久保大樹・吉田冬優
富来小学校	5/24	167		菅原隆・廣澤沙綾・久保大樹・吉田冬優
石崎小学校	5/28	136	武田修宏・田中卓磨・橋本英郎	
中島小学校	6/6	149		菅原隆・小西美加・畠山健介・千葉美蓮
能登島中	5/31	160	田中卓磨・金田喜稔	
中島中学校	6/11	86	酒井友之・田中卓磨・小村徳男	
七尾東部中学校	8/4	393	田中卓磨・酒井友之・安田理大	
七尾高校	4/15-16	320	永島昭浩・武田修宏	竜崎謙一・坂井寛子
田鶴浜高校	4/23-24	136	小村徳男・田中卓磨	菅原隆・杉山美紗・鈴木大輔・杉本一樹・畠山健介・廣井友信
田鶴浜高校	5/22	59		杉山美紗・杉本一樹・畠山健介・荒井daze廣正
能登学園高校	5/1	342	巻誠一郎	

北野孝一特任コーチ（石川県協会会長）や、竹原靖和FAOーチには、実施にあたっての技術面を含めた多大なサポートをいただきました。



## サッカーファミリー復興支援金

■クラウドファンディング（2/26～5/15）  
**2,373,500円**（目標の237%）

継続予定

被災地に力を | 能登半島地震サッカーファミリー復興支援金

■サッカーファミリー復興支援金口座（2/26～）  
**4,841,569円**

継続中

みずほ銀行 渋谷支店 普通預金 3229041  
公益財団法人日本サッカー協会 サッカーファミリー復興支援金口  
ザイ)ニホンサッカーキョウカイ サッカーファミリーフッコウシエンキンガチ

■試合会場等での募金活動 ■パートナー企業等からの支援  
**4,560,920円 2,397,951円**

■チャリティオークション（第8弾まで実施） ■チャリティTシャツ販売  
**25,950,285円 441,600円**

継続中

■復興支援マッチチケット販売額（7/13@金沢）・同額をJFAが拠出  
**22,342,700円・22,342,700円**

令和6年能登半島地震  
Noto Peninsula Earthquake in 2024

# 被災地に力を

UNITED TOGETHER



令和6年能登半島地震 / Noto Peninsula Earthquake in 2024

被災地に力を  
UNITED TOGETHER

サッカーファミリー復興支援金  
**寄付金募集**

JFA DREAM がんばろうニッポン!

合計  
**85,791,225円**  
（12月末現在）

このほかに、多くの皆様から物品や役務等のご提供をいただきました。ありがとうございました。



## 地震発生から1年間の活動報告

2/19

珠洲市  
飯田小学校



子どもたちのこころのケアは、JFA防災復興支援委員会メンバーによる現地視察で自治体関係者等への聞き取りを行った後、地震発生直後から支援活動を行っていたNPOカタリバのご協力を得て能登町より開始。その後、JFA防災・復興支援委員会（当時）の国崎信江委員（危機管理教育研究所）を中心に、珠洲市、志賀町、七尾市の教育委員会と連携し、3月までに両自治体の当時訪問可能なすべての小中高校と保育所等を訪問し、オンラインで避難先の子どもともつないでこころのケアを実施した。派遣にあたっては、日本代表OB・OG会、日本財団HEROs、トップリーグ連携機構、ツエーゲン金沢などからトップアスリートを募り、JFAと日本財団で現地への移動を共同で担当した。

左から、松坂拓紀さん（テニス）、笹原龍さん（テニス）、永島昭浩さん（日本代表OB）、堀由美恵さん（ボディボード）

JFA

がんばろう！能登！

サッカーファミリーのチカラをひとつに！

2025/1/23



## 地震発生から1年間の活動報告

3/7



奥能登の小学生年代の3つのサッカーチームのある、輪島市、珠洲市、能登町と、JFA夢フィールドをオンラインで結び、元サッカー日本代表の永島昭浩さんの進行のもと、SAMURAI BLUE（日本代表）森保一監督とのオンライン交流を行った。松本良一フィジカルコーチによる身体を動かすプログラムも実施。子ども達は元気に身体を動かし、その後は積極的に手を上げて森保一監督へ質問をしていた。この時期は、まだ広い範囲で断水も続いており、能登半島を離れて遠方へ避難している家庭も多く、オンラインで徐々にチームメイトと顔を合わせる子どももいた。

## 輪島市 和光幼稚園ほか



JFA

がんばろう 能登!  
サッカーファミリーの力を合わせよう!

2025/1/23



## 地震発生から1年間の活動報告

七尾市  
光の子保育園

● 3/14

訪問先の保育所等や小学校に在籍する未就学児や小学校2年生以下のキッズには、サッカーボールやチャレンジゲームの冊子が入った「JFAスターターキット」のリュックサックを合計約2,000セット、サッカー交流時に贈呈した。  
また、株式会社ポケモンのご協力により、JFAキッズアンバサダーのストライカーポケモン「エースパーン」が、全15か所の保育所等を訪問した。



JFA

がんばろう 能登!  
サッカーファミリーのチカラをひとつに!

2025/1/23



## 地震発生から1年間の活動報告

3/15

宮本専務理事（現会長）は、3月15日に輪島市中心部を視察。輪島市サッカー協会関係者の案内で、仮設住宅団地建設のために人工芝の撤去が進められていたフルピッチ1面と少年用1面のマリンタウン競技場や、建物に大きな被害があったサンアリーナを視察。また、地元住民の方から、輪島朝市の火災現場を案内していただきながら、被災地の状況についてお話を聞いた。

輪島市中心部

輪島市

金沢市

JFA

がんばろう  能登！  
サッカーファミリーのチカラをひとつに！

2025/1/23



## 地震発生から1年間の活動報告

●4/17

能登町  
小木保育所



能登町でも、4月の時点で断水などの影響が残っている地域もあったが、訪問可能なすべての保育所へトップアスリートが巡回し、一緒に身体を動かしながら子どもたちと交流を図った。左は、日本トップリーグ連携機構から派遣された元ソフトボール日本女子代表の坂井寛子さん、右は元なでしこジャパン（日本女子代表）海堀あゆみさん

●4/18

能登町  
うしつ保育所



JFA

がんばろう 能登！

サッカーファミリーのチカラをひとつに！

2025/1/23



## 地震発生から1年間の活動報告

4/30

能登町  
松波中学校



子どもたちのこころのケアは、体育館やグラウンドが損傷している中でも、安全に配慮しながら続けた。中学校では、身体を動かしてサッカーと一緒に楽しむだけでなく、訪問したアスリートの過去のつらい経験や乗り越えることができたきっかけなどを生徒へ語りかける場面もあった。左から、元サッカー日本代表田中隼磨さん、ツエーゲン金沢クラブキャプテン廣井友信さん

JFA

がんばろう 能登！

サッカーファミリーのチカラをひとつに！

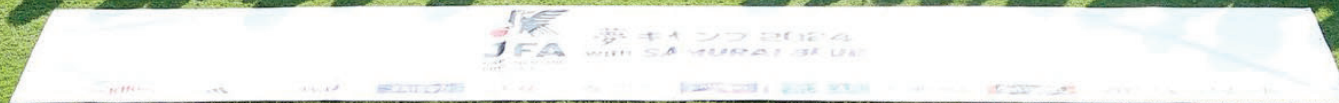
2025/1/23



## 地震発生から1年間の活動報告

## 高円宮記念 JFA夢フィールド

6/1



夢 キャンプ 2024  
with **SAMURAI BLUE**

日本サッカー協会（JFA）とパートナー企業は6月1日、高円宮記念JFA夢フィールドに能登半島地震で被災した地域の小学生チームを招待し、「夢キャンプ 2024 with SAMURAI BLUE」を開催した。イベントには70人の子どもたちとSAMURAI BLUE（日本代表）の選手6人も参加し、青空の下、サッカーで楽しく汗を流した。

JFA

がんばろう 能登！  
サッカーファミリーのチカラをひとつに！

2025/1/23



## 地震発生から1年間の活動報告

## 金沢ゴーゴーカーレースタジアム

7/13



金沢市の金沢ゴーゴーカーレースタジアムで行われた、MS & AD カップ 2024～能登半島地震復興支援マッチ がんばろう能登～ なでしこジャパン（日本女子代表） vs ガーナ女子代表の試合には、能登半島地震で被災したサッカーチームの小・中学生、高校生の選手とその同行者を対象にJFAバスツアーなどの能登半島地震復興支援プログラムを実施した。また、その一環として、JFA Partnership Project for NOTO（JPPN）によるプログラム「ウォームアップツアー presented JPPN」と「ピッチサイドツアー」も行われた。この試合のチケット収入と、JFAが拠出するその同額分と合わせた44,685,400円が、サッカーファミリー復興支援金に充てられることとなった。また、チャリティーオークションやTシャツ販売も実施された。

### MS&AD カップ 2024

～ 能登半島地震復興支援マッチ がんばろう能登～

JFA

がんばろう能登!

サッカーファミリーのチカラをひとつに!

2025/1/23



# 地震発生から1年間の活動報告

珠洲市  
三崎中学校

7/15

ゆきちゃん  
JFA KIRIN

JFA  
PARTNERSHIP  
PROJECT  
for NOTO

JFA・キリン  
ビッグスマイルフィールド

「JFA・キリン ビッグスマイルフィールド」は、5月から能登町、輪島市の門前地区と輪島地区に続き、珠洲市で、避難所や仮設住宅での生活を余儀なくされている方が多い珠洲市で、人々の運動不足解消や地域コミュニティ維持のきっかけづくりのニーズがあり開催。走らないサッカー「ウォーキングフットボール」で楽しく交流できる機会を創出した。宮本会長、SAMURAI BLUE（日本代表）森保監督も参加し、中学校のグラウンドに建設された仮設住宅団地のお年寄りも参加し、交流を図った。

珠洲市

金沢市

JFA

がんばろう 能登！

サッカーファミリーのチカラをひとつに！

2025/1/23



# 地震発生から1年間の活動報告

東京都文京区

8/21-23



能登半島地震によって従前の活動が困難になっている石川県輪島市の中学2年生80名を東京都文京区に招待し、さまざまなアクティビティを実施。これは『JFA×文京 Dream Project』の第2弾「街と能登の応援フェス」として企画したもので、思う存分スポーツを楽しむことで前向きな気持ちになってもらいたいと「復興祈念スポーツ交流会」を東京ドームで開催。元日本代表OB・OGと日本財団 HEROsから11名のゲストを迎え、文京区の子もたちとともに追いかけて玉入れや長距離シュート、ムカデ競争、まぜこぜリレーといった種目でチーム対抗戦を実施しました。喜んだり悔しがったりしながら、大いに盛り上がった。

また、輪島市の中学生は滞在期間中にJFAこころのプロジェクト「夢の教室」や、職場体験学習、読売ジャイアンツ対広島東洋カープ戦観戦などのプログラムを楽しみ、最終日には、森保一日本代表監督がサプライズで登場し、輪島市の中学生に激励のメッセージを送り、全員とハイタッチをして締めくくった。

右：輪島市立門前中学校と東陽中学校の生徒への夢の教室を担当する夢先生の小林弥生さん

左上：東京ドームで行われたスポーツ交流会 左下：JFAハウスでサプライズ登場した森保監督

JFA

がんばろう！能登！  
サッカーファミリーのチカラをひとつに！

2025/1/23



## 地震発生から1年間の活動報告

10/15

『FIFAワールドカップ26 アジア最終予選(3次予選)』が行われた埼玉スタジアム2002の会場で、JFA能登半島地震サッカーファミリー復興支援金の募金活動を実施。サッカー元日本代表の永島昭浩さんや中村忠さんも参加。このほか、天皇杯全日本サッカー選手権大会の決勝や各会場、10月のMIZUHO BLUE DREAM MATCH 2024などでも募金活動が行われた。

さいたまスタジアム2002

さいたまスタジアム2002

©JFA

JFA

がんばろう 能登!  
サッカーファミリーのチカラをひとつに!

2025/1/23



## 地震発生から1年間の活動報告

10/20



SAMURAI BLUE(日本代表)の森保一監督は、10月20日、21日の両日、能登半島地震と豪雨災害の被災地の一つである石川県輪島市を訪問。災害ボランティア活動や子どもたちとの交流を行った。初日は輪島市町野地区を訪問。JFAリスペクト委員会防災・復興支援部会の部会員であり、災害NGO結の前原士武さんの案内で、まず床上浸水の被害を受けた住まいの片付けに参加（写真右）。また、8月にウォーキングフットボールのイベントを行うなど、地域の復興の先頭に立ってきた、町野復興プロジェクトの山下祐介さんとメンバーの皆さんから、地域の現状についてお話を聞くとともに、「困難な状況でも明るい未来を思い描いて将来に向かって進んでほしい」と、力強いエールを送った（写真左）。

輪島市  
町野地区



JFA

がんばろう 能登！  
サッカーファミリーのチカラをひとつに！

2025/1/23



## 地震発生から1年間の活動報告

輪島市  
まちの保育園

能登町  
柳田中学校

10/21

2日目は、輪島市町野地区の「まちの保育園」を訪問。この保育園は能登半島地震後、東陽中学校の体育館の一室を利用して再開していたが、9月の豪雨災害で浸水する被害があった。園の先生や地域の方々を中心となって片付けを行い、保育を再開することができた。森保監督は、JFA復興支援特任リーダーの石川県サッカー協会北野孝一 会長とともに、7人の子どもたちと一緒に思い切り身体を動かして遊んだ。

その後、能登町の柳田地区へ移動し、能登町立柳田中学校と能登町立柳田小学校を訪問。柳田中学校には輪島市立東陽中学校の生徒が、柳田小学校には輪島市立町野小学校の児童が、スクールバスを使って登校し、市町を越えて一緒に教室で学んでいる。柳田中学校では、能登半島地震の影響で体育館が使用できない状況が続いており、ランチルームに両校の生徒が集まり、森保監督の話に耳を傾けていた。

柳田小学校では、体育館に両校の100名を超える児童が集まり、一緒になって身体を動かし、最後は学年ごとに、能登半島地震後にJFAから学校へ寄贈したミニゴールとサッカーボールを使って、ミニゲームをして汗を流した。この小学校には、地震により被害を受けた柳田保育所も一時的に移って保育が行われており、園児たちも顔を出して一緒に身体を動かしていた。

JFA

がんばろう 能登!  
サッカーファミリーのチカラをひとつに!

2025/1/23



## 地震発生から1年間の活動報告

珠洲市  
大谷小中学校

● 11/14

11月以降は、学校・園への訪問を再開。この日は、珠洲市立大谷小中学校を、元サッカー日本代表の久保竜彦さん、ハーフナー・マイクさんと、日本財団HEROsの小西美加さん(元女子プロ野球選手)が、珠洲市立大谷小中学校を訪問した。地震発生前は40人を超える児童や生徒が通っていたが、現在通学しているのは5人のみとなっている。校庭には仮設住宅が建てられ、体育館の半分はまだ避難所として使われおり、学校の周りは、倒壊したままの家屋や土砂崩れで寸断されたままの道路も多く残っている状況だった。

珠洲市

金沢市

JFA

がんばろう! 能登!

サッカーファミリーのチカラをひとつに!

2025/1/23



## 地震発生から1年間の活動報告

元サッカー日本代表の久保竜彦さん、酒井友之さん、日本財団HEROsから元ラグビー日本代表の大西将太郎さん、元ハンドボール日本代表の土井レミイ杏利さんが石川県輪島市の門前中学校を訪問し交流。その後は、同市七浦地区での災害ボランティア活動に参加。

門前中学校は、9月の豪雨で楽しみにしていた体育祭が中止に。また現在、門前東小学校には地震による被害があり、門前西小学校とともに門前中学校に移って学んでいる。

交流会は前半に、二校の小学生たちも参加して長縄跳びや、かごを背負っての玉入れなどを中学生と一緒にやり、みんなが笑顔になれる時間とまった。後半は中学生だけでドッジボールとサッカーの真剣勝負。ファインプレーが飛び出したり、笑い声が響いたり、終始盛り上がりを見せた。

最後は、先生やアスリートと中学生がサッカーでの対戦となり、興奮は最高潮に達した。生徒たちにとってトップアスリートと直接ふれあい、一つのことに取り組む体験は、忘れられない思い出になった。

交流会終了後、4人のアスリートが中学校から約20分ほどの七浦地区へ向かい、被災地の泥のかき出し作業に参加。水害の片付けは、重機が入らないところも多く、災害ボランティア活動の必要性を改めて認識した。

輪島市  
七浦地区  
しづ

輪島市

金沢市

11/20

JFA

がんばろう 能登!

サッカーファミリーのチカラをひとつに!

2025/1/23



## 地震発生から1年間の活動報告

能登町  
松波小学校



12/5

元サッカー日本代表の山田卓也さん、安田理大さん、日本財団HEROsの多田野彩香さん、中野源一さんが、能登町立松波小学校を訪問し、児童たちとスポーツを通して交流。松波小学校は校舎が被災したため、現在小学生は松波中学校の敷地に建設された仮設校舎で学校生活を送っている。10月に完成したこの仮設体育館でアスリートたちがスポーツ交流を行い、前半45分は低学年32名、後半45分は高学年37名の児童の皆さんに参加いただいた。まず、「だるまさんが転んだ」をしながらウォーミングアップ。空手の型を体験したり、フリスビーを使って2人組で何回パス交換できるかを競争。児童たちは初めて行うことにも一生懸命トライし、終始楽しそうに体を動かしていた。

JFA

がんばろう 能登!  
サッカーファミリーのチカラをひとつに!

2025/1/23



## 地震発生から1年間の活動報告

輪島市  
輪島中学校

12月19日と23日は、輪島市立輪島中学校を訪問し、クラスごとに全生徒と交流した。初日は、元サッカー日本代表の金田喜稔さん、元サッカー日本女子代表の山根恵里奈さん、日本財団HEROsの坂井寛子さん（ソフトボール）、井上鷹さん、吉田冬優さんが訪問。また、この日は、日本プロサッカー選手会にもご協力いただき、ザスパ群馬の小柳達司さん、藤枝MYFCの永田貴太さん、FC大阪の藤田雄士さんにもご参加いただいた。2日目は、元サッカー日本代表の永島昭浩さん、久保竜彦さん、安田理大さん、ハーフナー・マイクさんが訪問した。2年生は、8月に東京都文京区で行われたスポーツ交流以来の再会となった。

輪島市

金沢市

12/23

JFA

がんばろう 能登！

サッカーファミリーのチカラをひとつに！

2025/1/23



サッカーを輪島で出来ないから  
金沢に残るか輪島に残るか家族ですごく悩んで

差別に遭ったり、軽蔑に遭ったり、差別を受けるのが嫌で  
金沢に残りたいけど、金沢に残るとしたら、金沢に残りたいけど、

### 支援の輪を広げよう | がんばろう能登！サッカーファミリーのチカラをひとつに！

3/7（木）能登地方の小学生年代のサッカークラブ3チームを対象に、オンラインイベントを行いました。  
元サッカー日本代表の永島昭浩さんMCのもと、子供達は元気に身体を動かし、積極的に手を上げて森保監督へ質問  
していました。被災地の状況と合わせて、是非ご覧下さい。（2024年3月15日配信）



Q 今回の夢キャンプ2024を企画したきっかけ

仮設住宅などが建ったりして  
サッカーをする機会がない子どもたち

### Team Cam 特別編 | 夢キャンプ2024 with SAMURAI BLUE

2024年6月1日（土）、高円宮記念JFA夢フィールドにて夢キャンプ2024 with SAMURAI BLUEを開催。能登  
半島地震によって普段使っていたグラウンドに仮設住宅が設置されるなど、これまでどおりの活動が困難になっている被災  
地域のサッカー少年・少女を勇気づけるため、#SAMURAIBLUE の選手たちとJFAのパートナー企業と協力し開催さ  
れました。#小川航基選手、#鈴木唯人選手、#相馬勇紀選手、#谷口彰悟選手、#橋岡大樹選手、#町田浩樹  
選手、元サッカー日本代表の巻誠一郎さん、JFAコーチたちと一緒に、天然芝の上でサッカーを楽しみ、選手への質問・  
交流コーナーや、参加者全員でカレーを食べるなど、笑顔溢れる1日となりました。（2024年6月10日配信）







### 能登半島のいま 森保監督、現地へ | がんばろう能登！サッカーファミリーのチカラをひとつに！

2024年1月に発生した令和6年能登半島地震を受けて、日本サッカー協会（JFA）は復興支援プロジェクトを立ち上げて支援活動に取り組んでいます。9月の記録的豪雨による被害もあり、能登半島への継続した支援が求められています。今回、森保 一 SAMURAI BLUE（日本代表）監督が10月20日、21日の両日、現地訪問した際の様子をお届けします。（2024年11月28日配信）



| 昨年の元日に起きた能登半島地震から1年がたちました。  
犠牲になった方々とそのご遺族に深く哀悼の意を表します。  
また、今も困難の中にいる被災地の皆さまにお見舞い申し上げるとともに、  
復旧・復興作業に携わっている皆さまのご尽力に心から敬意と感謝の意を表します。  
多くのサッカーファミリーの皆さまのご支援もあり、  
日本サッカー協会（JFA）として継続した復興活動を行うことができました。  
ご支援いただいた皆さまに心から感謝申し上げます。  
9月の能登半島豪雨による被害も重なり、息の長い支援が求められています。  
JFAは引き続き、復興に取り組んでまいりますので、  
サッカーファミリーの皆さまにはこれからも被災地に心を寄せ、  
能登の復興にお力添えいただきますようお願い申し上げます。

JFAの公式SNSにて2025年1月1日発信

JFA能登半島地震復興支援活動の状況は、  
今後もJFA公式ウェブサイトJFA.jpや、  
公式SNSにて発信いたします。





**Thank you.**